

SDGs 関連の取り組み紹介

こども自然公園青少年野外活動センター

あったかエコなデイキャンプ*



当センター主催の「あったかエコなデイキャンプ」を令和5年3月10日(日曜日)に開催しました。このキャンプは、小学校1年生から6年生の17名が「地球にやさしいってどんなこと？」をテーマに、野外炊事やクラフトなどを体験しながら日常生活で私たちが地球のためにできることってなんだろう？を考える野外活動教室です。

午前中は、カレーライス・シチューライス・ハヤシライスと班ごとに違うメニューの野外炊事を行いました。昼食後、食材の包装類を集め、記載されている産地を調べました。さらに、その食材ごとの産地から横浜までのおおよその距離を調べ、班ごとの1食分の食材はどれだけの距離を移動してきたのかを計算しました。結果を班で発表し、外国産のものを使った班の食材の移動距離が多いことや、一つ一つの食材の移動は少なくとも1食分を合わせると距離の違いが大きくなることに驚きを感じていました。

その後のクラフトでは、空きペットボトルを利用して「ピーク」という遊具を作成し、みんなで公園の広場で投げて遊びました。重さのバランス調整や投げ方に初めのうちは苦労していましたが、コツをつかめば風に乗って遠くに飛ばすことができていました。

終わりの会での振り返りでは、「なるべく近くで採れたものをたべよう」、「ゴミをへらそう」、「家に帰ってから考えよう」との感想が挙げられ、食材の地産地消や廃品のリユースなど、これからの生活の中で自分ができることを実践したいとの思いが感じられたキャンプでした。

